



『江戸より松江まで道中図巻』兵庫県立歴史博物館（江戸時代後期）

# 美作道・因幡街道

美作国は岡山県の一部で、古くは和銅6年(713年)備前国より六郡を分けて成立したといわれる律令時代の国です。美作道は播磨国と美作国を結ぶ道で、下手野を分岐点としてたつの市に抜ける山陽道の支路に当たります。しかし、『播磨国風土記』などの文献によると、美作道は単なる地方道ではなく、山陰と畿内を結ぶ道として重要な意味を持っていたことが分かっています。美作道は、現在の佐用町で分岐して鳥取に向かう因幡街道や、美作を経て鳥取、島根に向かう伯耆道・出雲道ともつながっていました。律令制下において畿内から山陰に向かう正式なルートは山陰道でしたが、山陰道に駅路が整備された後も、播磨国を経由する美作道は頻りに利用されていました。



美作道・因幡街道ルート